

## 稲刈りと灌水作業

気がつけばもう 2014 年も 1 カ月が経ちました。現在、カンボジアは乾季に入り、全く雨が降りません。1 月は 1 度も雨が降ることはありませんでした。徐々に昼間の気温が上がっているのを感じています。これから 4 月にかけて更に暑くなってきます。

今回は 1 月に行った 2 期作目の稲刈りの成果と、現在、農場で特に力を入れている灌水作業について報告したいと思います。

### ①2 期作目稲刈り

現在、約 4 反(≒400a=4000 m<sup>2</sup>)の水田で 2 期作を行っています。その内半分は 10 月上旬に田植えを行い、11 月中旬にもう半分田植えをしました。本当は 10 月上旬に全て田植えする計画だったのですが、苗がうまく出来なかった為、2 回に分けて行うこととなりました。そして、1 月上旬に 10 月に植えた水稻の稲刈りを行いました。結果は昨年度の 2 期作目の 1 反当たりの収量が約 100kg だったのに対し、今年度の 10 月に植えたものはそれをはるかに上回る約 180kg という出来でした。その要因として、I. 2 期作目の栽培の時期が適切であったこと II. 1 期作目の内に施肥したコーヒー粕が 2 期作目の肥料として効いたことが挙げられます。

I の適切な時期ですが、カンボジアでは例年、11 月から雨が降らなくなり、1 月は全く降らなくなります。水稻は田植えして穂が出るまでは水が必要ですが、穂が出ると水は少ない方が稲の品質が良くなります。その為、10 月の下旬に田植えするとちょうどいい時期に雨が降らなくなるので管理も容易で収量も多く獲れたのだと思います。また、II のコーヒー粕の施肥ですが、コーヒー粕などの有機物は水田に散布した後に微生物の力で分解されます。そして、分解されて植物が吸収できるようになると肥料としての効果を発揮します。そのため、散布してすぐには効果が出ず、時間が経つにつれて徐々に効果が現れてきます。今回は偶然なのですが、2 期作目の水稻にとって効果的な使い方をしたのだと思われます。

2 期作の取り組みも今年で 3 年目となり、過去の経験から適した時期を見つけることが出来、今年はそれを成果として出すことが出来ました。農業の難しい所は 1 年に 1 度しかチャレンジ出来ない為、成果が出るのに時間がかかることなのですが、2 期作のやり方も徐々に形になってきました。作業に適した時期を今年でつかめたので、来年は肥料を散布するのに適した時期や 1 期作目のスズメの食害を減らす為の工夫をすることで、より多くの収穫ができるように改善していきたいと



2 期作のやり方も失敗を重ねながら段々分かってきました。来年度も収量をさらに向上できるようにしたいと思います。

思います。

## ② 灌水作業

乾季に入り、農業をするうえで一番大事になってくるのが作物に水を与え、作物が育ちやすい環境を作ることです。現在、レモングラス、11月に田植えをした水稲、果菜類および根菜類に定期的に灌水をしています。

各作物に灌水を行っていますが、一番力を入れて行っているのがレモングラスの灌水です。レモングラスの灌水は塩ビ管に穴をあけ、そこから水が出るようにしています。そうすることで広い範囲に効果的に灌水を行うことが出来ます。日本であれば灌水の為のチューブがあるのですが、カンボジアには販売されていないため自分たちで塩ビ管に穴を空けて作成しました。灌水は朝と昼に1回ずつパイプを移動させ、ポンプを動かして行います。乾季の間は毎日継続して行うことでレモングラスの収穫を安定して行えるようにしていきます。

また、11月に植えた水稲にも定期的に灌水をしています。上記のように、11月に植えると1月には水田に水がなくなってしまう為、灌水を行う必要があります。水稲は水田に水を入れればいいのでポンプからホースを繋いで田んぼに入るようにします。2期作を行っている水田は池がすぐ近くにあるので作業の負担はさほどないのですが、ポンプを使えば使う程ガソリンを使用する為、収益の面でみるとやらない方が良い作業です。10月上旬に植えればポンプをほとんど使わずに栽培できるため、来年は10月上旬に植えきれるように準備しなければと考えています。

そして、果菜類(トマト、ナス)や根菜類(サツマイモ、生姜、里芋)にはタルに水を溜め、手桶を使って人力で水を与えています。ポンプを使うよりも当然与える水の量は少ないのですが、ビニールマルチや藁を地面に敷くことで水の蒸発を防ぎ、灌水の効果を高めています。今のところは果菜類や根菜類の作付が少ないので人力でも問題なくできています。また、1株1株に水を与える為、作物を観察するのにいいきっかけとなっています。果菜類では灌水した後に余分な芽を取り除いたり作物が倒れないように支えを作ったりと管理作業を現地スタッフに説明しながら行っています。カンボジアではあまり管理作業を行わず、出来たものを出来ただけとるという放任主義な栽培をしていますが、それを人の手で管理することでより多く、より品質の高いものができるということを実際に作業しながら伝えていければと思っています。

乾季が5月までなので後4カ月は継続して灌水作業を行う必要があります。これから陽射しも強くなる為、体調には気を付けながら明るく前向きに日々の作業を行っていきたいと思います。



レモングラスの灌水はパイプに穴を空けて行っています。  
パイプをはわせることで1度に広い範囲の灌水が出来ます。

## 編集後記

カンボジアでは西暦の年末年始を祝うことはあまりしないのですが、1月下旬頃にある中国正月は家族で祝う習慣があります。国の祝日ではないのですが、華僑は休むのでカンボジア人も休むといった感じです。4月にはカンボジア正月もあり、その時は3日祝日でお寺で祝います。祭り好きなところは日本人に似ているなど感じます。

早藤